

ランチbuffet・8月食事会（2019/8/27）

C&D 班 石谷、佐藤、守谷

8月末の残暑のなか、恒例の食事会を本川越駅に隣接するプリンスホテル9Fのbuffetレストラン エトワールで行いました。19名と多くの出席がありました（8名の欠席）。メニューは、お昼の食べ放題「ランチbuffet」で、個室（テーブル席 ヴィーナス+ジュピター：最大各12名）を利用（11:30-13:30の2時間：無料）させて頂きました。

「ランチbuffet」料金は2,500円、アルコール料金は個人別会計でありましたが、両料金ともB班岡部さんのご厚意により10%割引が受けられました。感謝申し上げます。

料理はおいしく、また、例年の和風「飲み屋」での食事会とは違った雰囲気であり、概して良かったのではなかったかと思います。

クラブ代表の平澤さんから、HMさん（D班）の訃報のお知らせがありました。謹んでご冥福をお祈りいたします。引き続いて、9月、10月、11月の活動予定がそれぞれA班大岩さん、C班小村さん、D班平澤さんから有りました。10月、11月の担当は、本来ならばそれぞれD班、C班の順でしたが、今回は都合で担当班が入れ替わっています。また、10月4日予定のバス旅行の案内が服部さんから有りました。いつまでも元気で活動していきたいものです。



「ランチbuffet」（from

https://www.princehotels.co.jp/kawagoe/plan/etoile/lunchbuffet_20190705/)

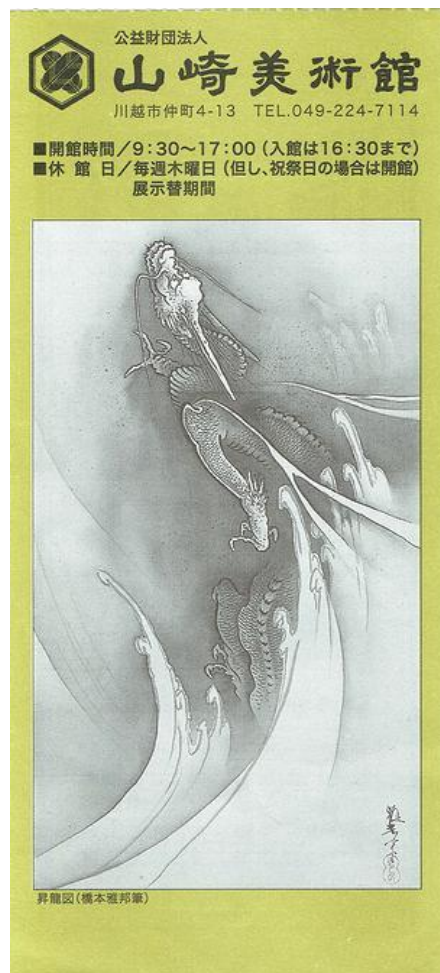


食事会を13:30に終えて、有志で川越探索に向かいました。最初の訪問先は、蔵造りの商家が軒を連ねる一番街通りにある老舗和菓子店「亀屋（亀屋）」の一角にある土蔵造りの美術館「(財)山崎美術館」です。900m先にあり徒歩で行きました。ここには、川越藩松平周防守(すおうのかみ)の抱え絵師橋本養邦(は

しもとおさくに)の子息である近代日本画の革新者・橋本雅邦(はしもとがほう)【天保6年(1835年) - 明治41年(1908年)】の作品が中心に展示されていました。また、砂糖蔵では、昔使われた木型など菓子作りの道具も見られました。鑑賞後に、お茶とお菓子(亀甲の型をした「亀の最中」でした)を頂きながら休憩できるスペース(昔の水場で井戸ポンプが残っていました)が用意されていました。

参考:(財)山崎美術館が橋本雅邦の作品をコレクションしている歴史的経緯については、インターネット記事「小江戸探検隊:第16回(財)山崎美術館」に紹介されています。

(<https://www.kawagoe.com/exploration/exploration16.html>)



山崎美術館の入館チケット

パンフレット

そして次の訪問先は「川越氷川神社」で、その夏の祭事「縁むすび風鈴」を楽しむことに。山崎美術館から、街中の「時の鐘」経由で約 1.1 km を歩いて行きました。祭事「縁むすび風鈴」は 2014 年のスタートで、今年 2019 年で 6 回目だそうです。「川越氷川神社」は、もともと小江戸「川越」にある縁結びのパワースポットである上に、職人さん手作りの江戸風鈴を飾った「縁むすび風鈴」が、数年前からインスタで話題となっていることから、たくさんの恋する女性たちでにぎわっていました。もちろん、若い男性や、老恋ジャーも多くいるのですが、この舞台では脇役でした。境内の氷川会館で一休みして、15時過ぎのバスで本川越駅に戻りました。今日の徒歩は幸いに曇天下であり、2-3日前から朝夕には初秋を感じるようになったこともあってか、真夏日の暑さと比べれば、文句を並べなくても済む暑さでした。



大鳥居の扁額の文字は勝海舟の筆によるもの

